

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	数学C	単位数	1単位 (1・2学期)	学年・学科・コース	3年・普通科・普通コース(理系)
使用教科書	高等学校 数学C(数研出版)		副教材等	チャート式 解法と演習 数学C(数研出版) クリアー数学C(数研出版)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6 7 8 9	第3章 複素数平面 第2節 複素数平面 第3節 極形式 第4節 ドモアブルの定理 第5節 複素数と図形	複素数を使った座標の捉え方を理解し、複素数特有の処理をできるようにする。 また、図形の問題を複素数を用いて解決できるようになり、ベクトルでの解法との類似点理解する。	○	○	○	・複素数特有の処理ができる。 ・複素数を曲形式で表すことができる。 ・ド・モアブルの定理も用いて高次の複素数を処理することができる。 ・図形の問題を複素数を用いて解くことができる。	定期考査 授業態度 課題
7 8 9 10 11 12 1 2	第4章 式と曲線 第1節 放物線 第2節 楕円 第3節 双曲線 第4節 平行移動 第5節 2次曲線と直線 第6節 2次曲線の誠性質	放物線、楕円、双曲線の定義を正しく理解し、その性質を用いて焦点、漸近線を求めることができるようになる。 また、グラフを書くことにより、方程式や不等式を解くことができるようになる。	○	○	○	・焦点、漸近線を求めることができる。 ・平行移動を用いて方程式、不等式を求めることができる。 ・図形の問題を2次曲線の性質を正しく用いて解くことができる	